

## 住宅用カーペットタイル

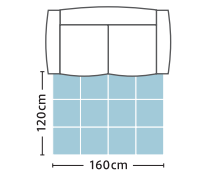
# STYLE KIT+

### ユーザーズガイド

#### サイズと枚数の目安

#### 間取りと枚数の目安

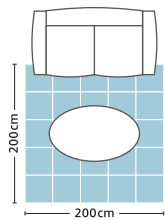
2人がけソファ



小さめのラグのように手軽に使用できる枚数。

12枚

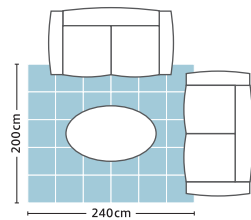
2人がけソファ



ソファとテーブルの下に敷いてぴったりの枚数。

25枚

2人がけソファ×2

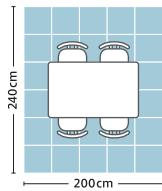


ソファを2つ置いてもしっかりカバーできる枚数。

30枚

江戸間	サイズ(cm)	枚数
2畳	176 × 176	16枚
3畳	176 × 261	24枚
4.5畳	261 × 261	36枚
6畳	261 × 352	48枚
8畳	352 × 352	64枚
10畳	352 × 440	80枚

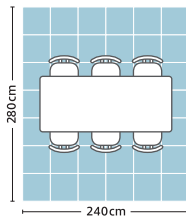
4人用ダイニングテーブル



フローリングの傷や食べこぼしも安心な枚数。

30枚

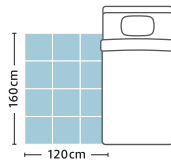
6人用ダイニングテーブル



大人数でもゆったり食卓を囲むことができる枚数。

42枚

ベッド横



ベッド横にもちょうどよい枚数。一人暮らしにもぴったり。

12枚

※畳数は江戸間(88×176cm)のサイズで、カーペットタイルの寸法を算出しています。  
※40cm角商品のため、隙間なく敷き詰める場合には、上記枚数ではなく採寸の上、必要枚数をご購入し、カットしてご使用ください。

#### 対応床下地

凹凸が少なく、平らな床面に貼り付けることができます。

##### ● 置敷き施工が可能な下地の例

下地の種類	貼付可否
フローリング	○
クッションフロア	○
塩ビタイル	○
セラミックタイル	○
カーペット	×
畳	×
モルタル	×

##### ■ 施工上のご注意

- コンクリート系の下地では使用しないでください。
- 下地の汚れを完全に除去して施工してください。接着不良のおそれがあります。
- 下地は湿気のない平坦かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工環境が整わなかった場合、目地隙や突き上げ、膨れ、臭気、はがれ等を招く場合があります。

※下地の種類によっては吸着しにくい場合があるため、事前に実物サンプル等でお確かめください。

※急激な室内温度変化の影響や、床材表面のテクスチャーの種類によって、吸着加工の跡が残る可能性があります。

## 敷き方

並べて貼るだけ! 工具などを準備する必要もなく、誰でも簡単に敷くことができます。  
ステップごとに、きれいに敷くためのヒントをご紹介します。

### 1 床をきれいにする

掃除機やフロア用掃除用具で床のホコリやゴミを取り除きます。

### 2 STYLE KIT+を用意する

スタイルキットプラスを箱から取り出し、裏面のフィルムをはがします。 ※STYLE KIT+ (DISNEY)を除く

### 3 方向を揃える

裏面の矢印の方向を揃えます。

### 4 敷き詰める

繰り返して貼ってはがせるので、自由にレイアウトしてください。

### 5 押し付けて密着する

レイアウトが決まったら、スタイルキットプラスを上から押さえて、床にしっかり密着させてください。

### 6 完成

繊維くずなどが気になる場合は掃除機をかけてください。

## 敷き方の種類

### ■ 部分敷き (お部屋の一部分だけに敷く)

カーペットを切らずに、そのままのサイズで並べるように敷いていきます。

#### 見切り材・出隅コーナー材について

フローリング面との段差や端部のほつれなどが気になる場合は、別売りの見切り材・出隅コーナー材のご使用をおすすめします。  
使用方法については、P.3にある見切り材・出隅コーナー材の使い方をご確認ください。

### ■ 全面敷き (敷き詰め)

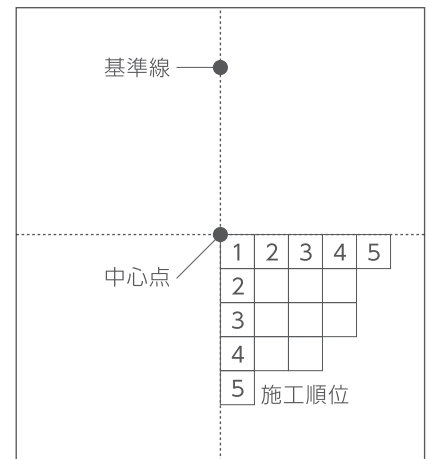
基準線に沿って貼り始めると美しく仕上がります。  
中心から基準線に沿って、四方へ敷き込んでください。

#### 基準線の引き方

部屋の四辺を計り、貼り始めの中心を決め、直交する基準線を引きます。  
中心を決める際には、窓ぎわや壁ぎわなど端になる部分に10cm以下の小さなサイズがこないように調整することで、敷き込みやすくなります。

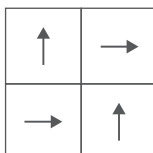
#### ご注意

裏面の吸着剤にホコリ等が付着すると吸着力が低下しますので、その場合は真水に濡らした布で吸着面と下地を丁寧に拭き取り、十分に乾かした後に敷いてください。

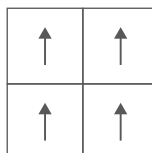


### ■ 敷き方参考例

#### 市松貼り



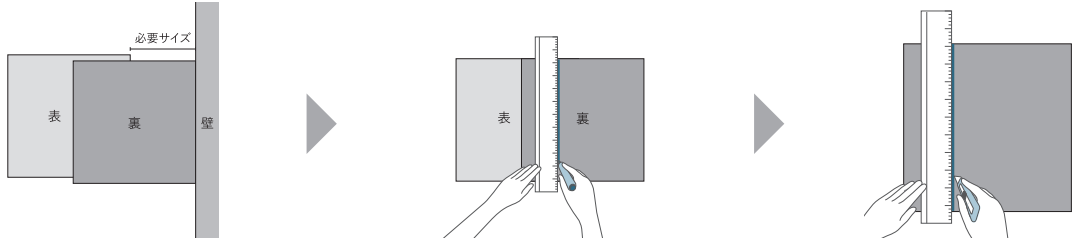
#### 流し貼り



※カーペットのたて、よこの方向は、裏面の矢印をご確認ください。

## 切り方

お部屋に敷き詰める際には、収まりの良いサイズに商品をカットしてご使用ください。



**1** 商品を裏返して、必要サイズを確認する。

**2** マジック等で切る位置に印をつける。

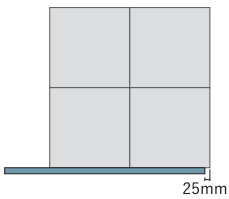
**3** 印に沿ってカッターナイフ等で切る。

### 上手に切るためのポイント

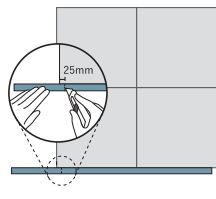
裏面の素材が厚いため、2~3回に分けてカッターの刃を入れると切りやすいです。  
パイルの切り残しがあった場合は、カッターナイフやハサミで丁寧にカットしてください。

## 見切り材・出隅コーナー材の使い方

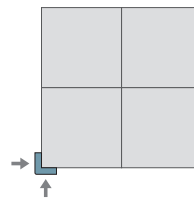
別売りの「見切り材」と「出隅コーナー材」を外周部に貼り付けることで、端部のほつれやダメージを防いだり、フローリング面との段差をなだらかにすることができます。



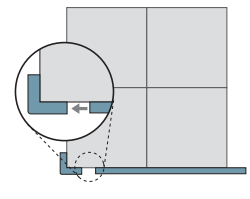
① スタイルキットプラスの1辺に、角から25mm離して見切り材を配置します。  
敷くサイズに合わせて見切り材をつなげてください。



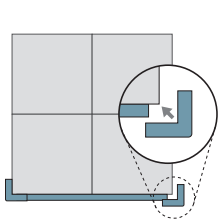
② はみ出た部分を角から25mm短くなるように見切り材をカッター等でカットします。  
①~②を4辺繰り返します。



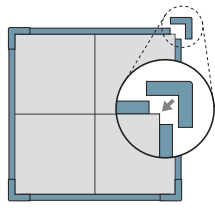
③ 出隅コーナー材の裏面のフィルムを剥がし、スタイルキットプラスの角に合わせて貼り付けます。



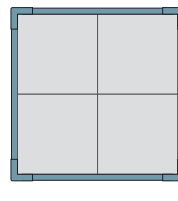
④ 見切り材の裏面のフィルムを剥がし、③で貼り付けた出隅コーナー材に見切り材を奥まで差し込んでください。



⑤ ④で差し込んだ見切り材の端に重なるように、2つ目の出隅コーナー材をスタイルキットプラスの角に合わせて貼り付けます。



⑥ ④~⑤を繰り返して、4辺に見切り材を貼り終えたら、4つ目の出隅コーナー材を見切り材にかぶせるように上から貼り付けます。



⑦ 完成です。

## お手入れ方法

### ■ 掃除機でのお手入れ

週2回程度

同じ場所を2往復しながら1㎡当たり20～30秒を目安にゆっくりとかけていきます。カーペットの毛並みと逆方向に掃除機をかけるとパイルが立ち上がり、ゴミを吸い取りやすくなります。



### ■ ロボット掃除機でのお手入れ

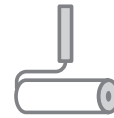
週2回程度

床にしっかり吸着しており、段差も少ないので、ロボット掃除機も使用できます。



### ■ 粘着テープでのお手入れ

掃除機では取りにくい糸くずや絡みついた髪の毛は、粘着テープを活用しましょう。



### ■ 拭き掃除でのお手入れ

月1回

中性洗剤を数滴溶かした水(2L)でタオルを濡らし、絞ってから拭きます。その後、お湯でタオルを濡らし固く絞ってから、洗剤が残らないよう、綺麗に拭き取ってください。



## シミの対処方法

汚れをこぼしたらすぐに対処することが大切です。

※汚れの種類や程度によっては落ちづらいものもありますので、できるだけ早く汚れを取り除いてください。

### ■ シミの種類の見極め方

濡れタオルの端をシミに当て、シミが移ってくるようなら水性です。どちらか分からない場合は油性のお手入れ方法をお試しください。

### ■ 水性のシミ(醤油など)

- ① ティッシュや紙ナプキンでたたいて水分を吸い取る。
- ② 水で薄めた中性洗剤をタオルに少量ずつつけ、シミ部分をタオルに移す。  
汚れを広げないよう、周りから中央に向かって行う。
- ③ 固く絞ったタオルで洗剤を拭き取り、少量の水分を含ませたティッシュで拭き取る。
- ④ 乾いたタオルで水分を吸い取った後、しっかりと乾かす。

※シミを取るために使用する洗剤もシミの原因になりますので、使用時は水で十分に薄めて使用し、お手入れ後はしっかりと洗剤を拭き取ってください。



### ■ 油性のシミ(クレヨンなど)

- ① 除光液を少量含ませた水で汚れをたたき取る。
- ② 水で薄めた中性洗剤をタオルに少量ずつつけ、たたきのように拭き取る。
- ③ 固く絞ったタオルで洗剤を拭き取り、少量の水分を含ませたティッシュで拭き取る。
- ④ 乾いたタオルで水分を吸い取った後、しっかりと乾かす。

※シミを取るために使用する洗剤もシミの原因になりますので、使用時は水で十分に薄めて使用し、お手入れ後はしっかりと洗剤を拭き取ってください。



## 洗い方

- ① 洗いたい部分のカーペットタイルを無理な力をかけずにゆっくりと剥がしてください。
- ② 剥がしたカーペットタイルを水またはお湯で手洗いしてください。  
汚れがひどい場合は、家庭用中性洗剤を薄めて、スポンジ等で手洗いしてください。  
※中性洗剤を使用の際は原液で使用せず必ず水で薄めてから使用してください。
- ③ すすぎを十分に行い、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で乾かしてください。  
※濃度が高い状態で使用しますと、変褪色をまねいたり吸着効果が低下したりするおそれがあります。洗剤の使用後はきれいに洗い流してください。  
※ドライクリーニングはできません。  
※洗濯機による洗濯・脱水及び乾燥機による乾燥は行わないでください。

## 補修方法



### ■ ほつれの補修

決して引っ張らないでください。  
ほつれたパイルを周りと同じ高さにはさみで切り揃えましょう。



### ■ へこみの補修

スチームアイロンをタオルの上から軽くあてるか、お湯を含ませたタオルで表面を濡らし少し距離を空けてヘアドライヤーで乾かすと、ある程度回復します。



### ■ 焼け焦げの補修

焼け焦げた部分をカッターやハサミで切り取り、家具の下などの目立たない所のパイルを木工用ボンドで焦げ目の部分に埋め込んでいきます。

## 機能性



消防法施行規則に基づく防火性試験に合格したカーペット等を示すマークです。



床暖房のフローリングの上にも置敷き可能な商品です。



パイルやラテックス等に帯電防止加工をしたカーペット、又は繊維自体に制電性能を有した素材を使ったカーペットです。



ペット臭など気になるニオイの消臭効果がある商品です。



安全性・持続性に優れた防ダニ加工を基布に施したカーペットです。



ソイルハイド (Soil Hide) は、繊維の異形断面構造が、光を反射、吸収、透過させ、汚れが目立ちにくくなっています。



抗菌試験 JIS Z 2801 結果に基づき抗菌活性値2.0以上をクリアした商品です。基布に抗菌加工を施しています。



ソイルガード (Soil Guard) は、撥水・撥油処理がしてありますので、汚れをうけつけにくくなっています。

## ご注意

### ■ 選択・施工上のご注意

- 住宅用カーペットタイルは屋内用です。屋外や半屋外では使用できません。
- 住宅用途以外では使用しないでください。歩行量の多いところで使用すると、商品の品質に問題が生じるおそれがあります。
- 防汚マークは製品の防汚性を示す目安です。美観保持には日常のお手入れを心がけてください。
- 消臭加工はニオイを軽減する加工であり、効果には個人差があります。
- 防ダニ、抗菌等の表示は加工処理の有無を示しています。カーペット、その他内装材だけでお部屋を完全に防ダニ、抗菌にすることはできません。お掃除や換気等、日常のメンテナンスに配慮してください。また、人体に影響の少ない薬剤を使用していますが、乳幼児が誤って口を含むことのないようご注意ください。
- サンプル帳の見本と製品の色、また写真と実際の商品では色や質感が異なる場合がありますが、ご了承ください。実物サンプル等でお確かめください。
- 濃色のカーペットはチリやホコリが目立ちますのでご注意ください。
- 梱包ケースに記載されている品名・品番・ロット・数量をご確認いただき、サンプル帳の見本と照合の上で施工を開始してください。同一床面上は同一ロットで仕上げてください。
- コンクリート系の下地では使用しないでください。
- 目地にパイルを挟まないようご注意ください。目地隙や段差の原因となります。
- 下地の汚れを完全に除去して施工してください。接着不良のおそれがあります。
- 貼り方は、商品ごとの推奨施工をご参照ください。
- 推奨施工以外で施工すると、目地の出方が不自然に目立つ場合があります。施工前に必ずご確認ください。
- 下地は湿気のない平坦かつ堅牢なものとし、適切な施工環境を維持してください。施工環境が整わなかった場合、目地隙や突き上げ、膨れ、臭気、はがれ等を招く場合があります。
- カットパイルは使用中にパイルの方向が部分的に異なり、雲状のムラのように見えることがあります。「くも現象」やシェーディング(日陰・明暗)と呼ばれるものであり、パイルが長く、濃い色合いのカーペットに起こりやすい現象です。これはカットパイルの性質であり、商品の欠陥ではありません。

### ■ 保管上のご注意

- 雨水等による水濡れを避けてください。変形、変質、変色、汚染、たわみやパイルの損傷等の原因となります。
- 住宅用カーペットタイルは、梱包を解かず、平坦な場所にずらさずに保管してください。また、積み過ぎはパイルの損傷等の原因となります。

### ■ 使用上のご注意

- 住宅用カーペットタイルの下の部分と住宅用カーペットタイルを敷いていない部分の色差が生じる可能性がありますので、同じ場所で使用する場合は、定期的に位置を替えたり、下地となる床面を拭いたりしてください。
- 下地の床面をワックス掛けした後は、完全に乾燥させてから敷いてください。
- 住宅用カーペットタイルを、ワックスが塗布されている下地で使用する際、はがした時に商品および見切り材の吸着材が床面に残る場合があります。残った場合は濡れた布等で拭き取ってください。(ワックスによっては取れにくい場合もあります。)
- 市販の消毒液・除菌剤を使用の際は、風合いを損ねる場合があります。消毒液・除菌剤メーカーの取扱い説明書に従って使用してください。
- 床暖房を使用する際、温められることにより、素材特有のニオイが生じる場合があります。ニオイが気になる方は使用を避けてください。
- 床暖房の上で使用すると、床暖房の昇温に時間を要します。
- 床暖房の使用に際しては床暖房メーカーの取扱い説明書に従ってください。
- 住宅用カーペットタイルのはがれ、反り、膨れ等が生じた場合は、即座に補修してください。放置しておくこと全体に影響がおよび、美観を損なうほか、つまずきによる転倒事故を招く可能性があります。
- パイルがほつれた場合、ほつれの伝線を防ぐためにもすぐにハサミでカットしてください。
- 直射日光の当たる場所では、パイルが変褪色する可能性があります。必ずカーテン、ブラインド等で日よけをしてください。
- パイル素材には固有のニオイがあります。特に新しく施工した際はニオイが発生しやすいので換気を心がけてください。
- オゾンが発生させる空気清浄機が使用される場所や窒素酸化ガスの影響を受けやすい場所等ではパイルが変色する場合があります。
- 結露水はパイルを変色させたり、カビを発生させたりする原因となります。こまめに換気する等、結露を防ぐ工夫をしてください。
- ゴム製品や家具等の保護用ゴム材、塗料、防腐剤、防虫剤等によって、商品が汚染されて変褪色を招くおそれがあります。
- 家具の脚や突起物による局部荷重はへこみ跡やフェルト部分の損傷の原因となります。

### ■ メンテナンスについて

- 住宅用カーペットタイルは、汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたもので洗い流し、よく乾かしてからもとの位置に戻してください。汚れがどうしても落ちない部分は新しいタイルと交換してください。
- 定期的に掃除機をかけてください。一部商品は特性上遊び毛が発生しやすいため、掃除機の回転ブラシは使用せず、吸引を主体に行ってください。
- 汚れに応じて水または中性洗剤を薄めたものでたたくように拭き取ってください。洗剤を使用した場合は、かたく絞ったタオルで水拭きしてください。
- 塩素系の洗剤や化学薬品を使用すると、パイルが変褪色するおそれがあります。
- 汚れが付着したらできるだけ早く除去してください。時間が経過するほど、除去しにくくなります。
- 濡れたまま放置すると変形、変質、変色、カビの発生、裏材の剥離が生じる場合があります。